

写真を使った色面構成

15歳の自分を見つめてみよう

千葉市立千葉高等学校
教諭（美術科） 三浦拓郎
美術Ⅰ（2単位） 講座数4 108人

この授業で身につけて欲しい力

色が元々持っている明度を理解する。そして、明度を合わせた自分なりの美しい色彩構成をし、自分自身を見つめなおして欲しい。

題材設定理由

小中学校の美術の授業では色彩について学習する機会が少なく、色の持つ明度すら理解していない。これから鑑賞者として作品を観る時に少しでも鑑賞の幅が広げられるように、この題材を設定した。

使用する材料。道具

アクリルガッシュ、画用紙ボード、アルミ額、カーボン紙

展開

- 1 グラデーション
- 2 寒暖対比
- 3 写真のコピーの明度分解
- 4 カーボン紙による転写
- 5 3色のグラデーション
- 6 彩色
- 7 文字の転写
- 8 完成



自由な配色



寒色の右下の緑の明度に他の7色を合わせた配色

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
色彩に興味を持ち、色の持つイメージを生かした自分らしい造形活動に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて、自分自身から感じ取ったことや考えたことを色のもつイメージなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、色彩を工夫して表している。	他生徒の作品の表現や工夫などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。